

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	S1010 縁フォールド明和		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		2026年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		2026年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが、製作や運動療育など、いろいろな活動を楽しんでやってくれている。	事前準備を職員が協力し合っていてできています。 子どもたちが楽しくスムーズに活動できるよう、当日の会の進行やサポートなども、職員同士がお互い協力し合い行っています。 また、子どもや職員が「今してほしい」ことに気づけるよう、常に周囲に気を配っています。	職員の経験等により支援のアプローチ方法などでは個人差が生じる場合もありますが、1つのチームとして支援のクオリティが保てるよう、引き続き役割分担などを考慮した支援を行っていきます。 ※ほめる人、注意する人、フォローする人などは、状況により変わります。
2	活動する部屋が広いので、室内サーキットや運動療育など、動き回る活動を行いやすい。 また、定期的に運動療育を行っています。	運動療育に関しては、詳しい人物に指導の方法やコツを教えてもらい、職員の誰もが実践できるよう、簡単なマニュアルを作成しています。 また、室内だけでなく体育館を借りて、より広い場所にて、動きのある活動を行うようにしています。	マニュアル等を参考にしながら、今後も運動療育を積極的に継続していきます。 また、安全面での配慮もより一層高めていくために、特にリスクの伴う活動時には、必ず事前の打ち合わせを行い、リスクと対応を周知しておきます。
3	活動スペースと駐車場が広いので、イベントなども開催しやすい。	毎年、夏祭りを行い、保護者様や近隣の住民の方にも来ていただいています。	人が集まりやすい環境を生かし、夏祭り以外にも、保護者会などを定期的で開催し、保護者間の交流の場にしていきます。 また、ペアレントトレーニングなども検討していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども同士、職員同士の交流が、当施設内だけでしか行われておらず、当施設以外の人と交流する機会があまりない。	(児発は他事業所との合同活動日などがあるが)放デイは、他事業所との交流がほとんどない。 また、児童館などを利用することもないので、他児童と交流する機会もほとんどない。	例年開催している夏祭り以外にも、(以前行った)他事業所も参加できる「人形劇」の開催なども検討していきます。
2	適切なクールダウン専用スペースが確保できていない。	大きな部屋はあるが、小さめの個室がないため、適切な(防音、明るすぎない、物が無い=余計な情報が入ってこない、クッション性がある等の)スペースがない。 テントやパーテーションなどを検討したが、音を遮断できないため、現在も購入・設置にいたっていません。	市販のカムダウンスペースや樹脂製物置なども視野に入れ、設置場所なども含めて、児発とも相談しつつ、早い段階での購入・設置を検討していきます。
3			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	S1010 縁フォールド明和		公表日	2026/2/27		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		・広くて良い点と、広すぎて改善しなければならない点がある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2		・職員の人数が少ない時がある (送迎で出てしまう等) ・日によっては適切でない時もある ・足りないと感じる時がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		・クールダウンのスペースが必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・必要に応じて児発部屋を利用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3		・意見が出ない時が多い ・振り返りがない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2		・外部研修のお知らせが広く知られていない ・「研修は適当でいい？」等の言葉がある時がある
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		・話し合う時間がもっとほしい
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		・分からない部分もある
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・習慣化するように同じ活動を入れている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		・職員が増えれば、もっと個別活動ができる
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・土曜日以外は翌日に行っている	・日による
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		・もっとしっかり改善すると良い
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		・放デイの職員も1名参加できると良い
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		・分からない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		・人によっては、支援とは関係のない話を長くしたり、不安につながるような話をすることがある
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7		・放デイは少ない ・できていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	・面談等はしっかり行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	・児発が積極的に行ってきている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		・考え方の違いにより、対応が適切でない場合もある
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		・片付けをしっかりとしたい
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		・研修や訓練について「必要ある？」といった声もある
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		・もう少し対策が必要
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2		・保護者からの情報はあがるが、指示書でもらうケースは稀である ・職員のみで確認が多い
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		・出した意見が反映されていないときがある
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		・「検討しましょう」で具体的な対策を考えずに終わることが多い
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		・言葉が強くなってしまったり、大声に耳をふさぐ子どもがいた時に、適切ではなかったと後悔することがあった
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1		・身体拘束の記載の基準が統一されていない	